

令和2年度ウェルネスバレー推進事業 事業報告書

1. 組織構成

協議会の構成団体

- ・国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
- ・あいち健康の森健康科学総合センター
- ・あいち小児保健医療総合センター
- ・大府商工会議所
- ・東浦町商工会
- ・株式会社げんきの郷
- ・社会福祉法人仁至会
- ・あいち健康の森公園管理事務所
- ・大府市
- ・東浦町
- ・至学館大学

2. 会議運営

(1) ウェルネスバレー推進協議会

<構成団体等>

(敬称略)

会長	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典
副会長	愛知県健康づくり振興財団 理事長 大参 澄夫 (あいち健康の森健康科学総合センター 前センター長 津下 一代)
委員 (団体・機関)	あいち小児保健医療総合センター センター長 伊藤 浩明 大府商工会議所 会頭 鬼頭 佑治 東浦町商工会 会長 関 浩二 株式会社げんきの郷 取締役社長 青木 幹男 社会福祉法人仁至会 理事長 祖父江 逸郎 (代理 加知 輝彦) あいち健康の森公園管理事務所 所長 大瀧 邦裕 至学館大学 健康科学部・健康スポーツ科学科 学部長・教授 飯本 雄二 大府市長 岡村 秀人 東浦町長 神谷 明彦
オブザーバー (団体・機関)	中部経済産業局地域経済部次世代産業課ヘルスケア産業室 愛知県経済産業局産業部産業振興課次世代産業室 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課
事務局	大府市／東浦町

<会議開催状況>

	開催日	議案
第1回	令和2年 10月8日(木)	1 議題：ヘルスケア産業振興ワーキンググループの規約について 2 報告 (1) 新型コロナウイルス感染症対策による事業の変更について (2) 医福工連携マッチング支援事業について (3) 実証フィールドの有料化について (4) ウェルネスバレー地区の土地利用について 3 意見交換

(2) 運営委員会

<構成団体等>

(敬称略)

委員長	大府市健康都市推進局 局長 吉兼 智人
副委員長	東浦町企画政策部 部長 棚瀬 憲二
委員 (団体・機関)	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 松原 徳和 (~令和2年8月 小森 雅一) あいち健康の森健康科学総合センター 和田 正樹 あいち小児保健医療総合センター 青木 利夫 大府商工会議所 間瀬 計行 東浦町商工会 川口 法成 株式会社げんきの郷 石橋 勝彦 社会福祉法人仁至会 介護老人保健施設ルミナス大府 阿知波 修 あいち健康の森公園管理事務所 水野 綱人 至学館大学 井上 啓子
事務局	大府市/東浦町

<会議開催状況>

	開催日	議案
第1回	令和2年 5月 〔メール等により書類審査〕	1 令和元年度事業報告書 2 収支決算について 3 令和2年度事業計画 4 令和2年度のスケジュール 5 (案) ヘルスケア産業振興ワーキンググループ規約
第2回	令和2年 8月27日(木)	・議題：ヘルスケア産業振興ワーキンググループの規約について ・報告 (1) 新型コロナウイルス感染症対策による事業の変更について (2) 医福工連携マッチング支援事業について (3) 実証フィールドの有料化について (4) ウェルネスバレー推進協議会の議題について ・意見交換

第3回	令和2年 12月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 (1)ヘルスケア産業の創出支援の進捗について ①医福工連携事業の強化に向けて ②産業支援機関等とのネットワーク構築とPR活動 (2) 医福工連携セミナーについて ・議題 令和3年度事業計画(案)・予算(案)について ・意見交換
第4回	令和3年 3月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 (1) 令和2年度事業実績(案)・決算報告(案)について (2) 交流・にぎわいWGの活動報告 (3) ヘルスケア産業振興WGの活動報告 ・議題 令和3年度事業計画(案)・予算(案)について ウェルネスバレーブランド認定制度応募要領の変更について 後援等名義及びロゴマークの使用承認に関するガイドラインの変更

(3) 交流・にぎわいワーキンググループ

<構成団体等>

(敬称略)

座長	至学館大学 健康科学部 教授 時安 和行
委員 (団体・機関)	株式会社げんきの郷 株式会社トヨタエンタプライズ あいち健康の森公園管理事務所 社会福祉法人愛知県厚生事業団 愛厚ホーム大府苑 さわやかなの丘 協同組合健康木の住まいウッド・ビレッジ 社会福祉法人 憩の郷 大府商工会議所 東浦町商工会 大府市産業振興部商工労政課 あいち健康の森薬草園 フラワーサーチ大府 認知症介護研究・研修大府センター 国立長寿医療研究センター 医療法人寿康会 大府病院 (令和2年12月から)
オブザーバー	I E D A - A R T - D E S I G N
事務局	大府市/東浦町

<会議開催状況>

	開催日	議案
第1回	令和2年 12月25日(金)	1 令和元年度事業・収支決算報告について 2 令和2年度事業計画及び変更点について 3 ウェルネスバレー交流・にぎわいWG委員の追加について 4 令和3年度交流・にぎわいWG主催イベントについて
第2回	令和3年 3月26日(金)	1 令和2年度事業・収支決算報告について 2 令和3年度事業計画及び予算について 3 第15回ウェルネスバレーめぐりについて 4 令和3年度広報おおぶ ウェルネスバレー通信について

(4) ヘルスケア産業振興ワーキンググループ

<構成団体等>

(敬称略)

座長	大府市ウェルネスバレー推進課 課長 花井 信武
委員 (団体・機関)	国立長寿医療研究センター 社会福祉法人愛光園 (介護老人保健施設相生) 社会福祉法人愛知県厚生事業団 (愛厚ホーム大府苑) アイ・ドリームライフサポート株式会社 (住宅型有料老人ホームさわやかなの丘) 大府市 大府商工会議所 株式会社オリジン (介護付有料老人ホームフラワーサーチ大府) 社会福祉法人成仁会 (メドック東浦) 社会福祉法人仁至会 (介護老人保健施設ルミナス大府) 東浦町 東浦町商工会
事務局	大府市／東浦町

<会議開催状況>

	開催日	議案
第1回	令和3年 3月11日(木)	1 ヘルスケア産業振興WGについて 2 令和3年度の事業予定について 3 令和2年度の実績報告について 4 ヘルスケア産業振興WGのメンバー追加について

3. 取り組み事業

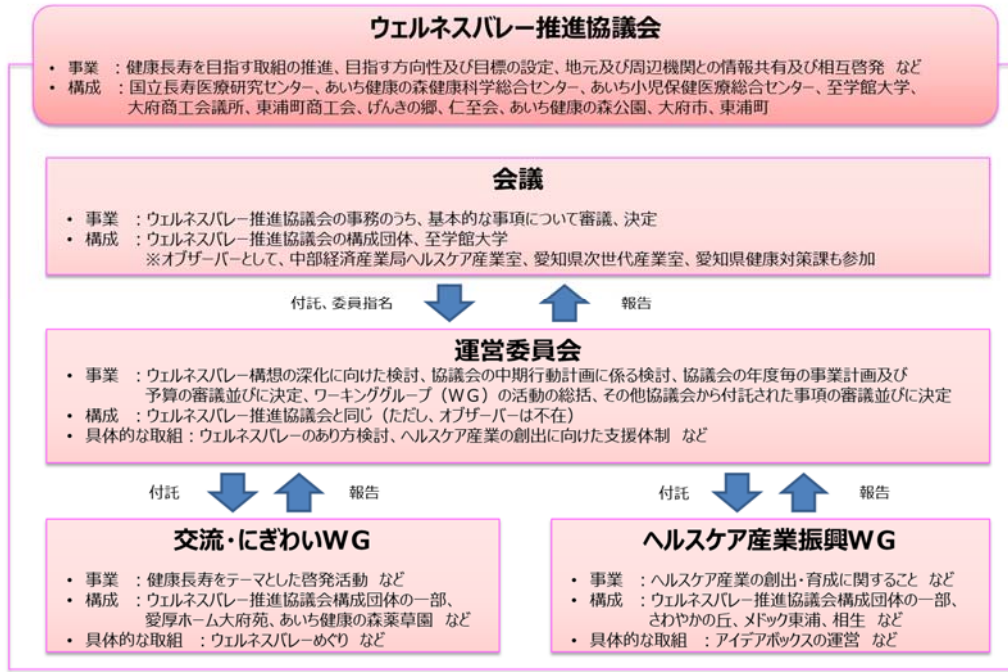
(1) 協議会の運営

①会議運営

- ・ウェルネスバレー推進協議会を1回開催し、ヘルスケア産業の創出支援等、個々の事業の取組状況を共有した。
- ・運営委員会を4回(内、1回は書類審査)開催し、事業計画等の審議、決定、事業の進捗管理を行った。

- ・交流・にぎわいWGを2回開催し、令和3年度のウェルネスバレーめぐりの開催に向けて検討を行った。
- ・ヘルスケア産業振興ワーキンググループを1回開催し、ワーキングの進め方、アイデアボックス活動の状況報告とメンバー追加の検討を行った。

ウェルネスバレー推進協議会 運営体制



②情報発信

- ・広報おおぶ「ウェルネスバレー通信」にてイベント情報を掲載 (毎月15日号、令和3年1月号から毎月1日号、11機関・施設)
- ・各事業の成果を対外的に広くPRするため、大府市のウェブサイト等から発信

(2) コーディネート事業

ウェルネスバレー関係機関と連携したヘルスケア産業の創出に向けた共同研究・開発や実証事業の展開等に関する事業者からの相談、ウェルネスバレー地区への立地に関する相談等に対応する「ワンストップ相談窓口」を運営した。また、市内外から人と企業と情報を呼び込むため、中部経済産業局の会議等で取組を紹介するとともに、Healthcare Innovation Hubに継続して加入した。

①コーディネート実績

- ・ウェルネスバレー機関とのマッチング、意見交換 32件

②経済産業省等の会議にて取組紹介

- ・岐阜県医療・福祉機器分野・参入・拡大チャレンジセミナー (令和2年9月15日・29日)
- ・静岡がん会議にて取組を紹介 (令和2年10月9日にYouTubeで配信。現在もウェブサイトから動画を配信)
- ・経済産業省主催による、3rd WASS (令和2年10月12日・13日) (※1)、JHeC (令和3年1月28日) (※2) の連携イベントに位置づけ

※1・・・ヘルスケアやエイジングに関する国際的な情報連携を促進するために国内外の有識者と協力して2018年から開催 (Healthcare Innovation HubのHPから引用)

※2・・・ジャパンヘルスケアビジネスコンテストの略。先進的技術を用いた製品を企業

がプレゼンし、支援企業・機関とのマッチングを実施



・地域版次世代ヘルスケア産業協議会アライアンス会合に出席 (10/21)

③認知症官民連携プラットフォームプロジェクトに継続して登録

④Healthcare Innovation Hub に継続して登録

12月末に関連イベント登録し、Healthcare Innovation Hub の Web サイトから情報発信

(3) ヘルスケア産業の創出支援

①医福工連携セミナー

「with コロナ時代の医療・福祉介護産業分野への進出」

・日時 令和3年2月8日 (金) 15:00~17:00

・会場 国立長寿医療研究センター教育研修棟大研修室

・参加者 50名

・事業内容

【講演 I】

テーマ「コロナ感染症流行下で進める企業との共同研究」

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

副院長・健康長寿支援ロボットセンター長

近藤 和泉 氏

【講演 II】

テーマ「コロナ禍や人材難でも現場がこだわる非効率介護」

～IT、IOTの導入事例をもとに～

社会福祉法人成仁会 特別養護老人ホームメドック東浦 理事長 吉田 禎宏 氏

【講演 III】

テーマ「実証フィールドを活用したAIロボットの活用促進」

～介護施設編～

シンフォニア・プロパティーマネジメント株式会社 代表取締役 張 耀光 氏

【講演 IV】

テーマ「ウェルネスバレーの現場ニーズと実証フィールドの活用フロー」

大府市企画政策部健康都市推進局 吉兼 智人

②アイデアボックスの仕組みづくり

アイデア提案箱の設置により現場ニーズの収集し、ヒアリングを行ったうえで、ウェブ サイトにて発信 (令和2年12月)

・アイデア提案箱の設置機関 医療機関：1機関、福祉施設：6機関

令和2年度 ウェルネスバレー

ウェルネスバレー-医福工連携セミナー

Withコロナ時代の医療・福祉介護産業分野への進出

本セミナーでは、ウェルネスバレー-医福工連携が新型コロナウイルス (COVID-19) により現場がどのように変化したか、現場で起きている課題を話し、ウェルネスバレー-医福工連携のアイデアボックスに寄せられた感染症対策の取組事例を含む現場ニーズを交換し、ウェルネスバレー-医福工連携の共同開発や実証フィールドの活用による新事業分野への進出支援をお伝えします。

【日時】 令和3年2月8日 (月) 開始15:00 (受付14:30)

【会場】 国立長寿医療研究センター 教育研修棟大研修室

【主催】 大府市、東浦町

【定員】 50名 (先着順・無料) (※)

【対象】 医療・福祉介護分野に関心をもちたいものづくり企業
IT企業・ベンチャー企業、金融機関、投資団体、支援機関、大学、行政機関

【申込方法】 参加申込書 (裏面) により、FAX: 0562-47-7320 または Eメール: wellness_valley@city.ouj.jp

(※) セミナーの様子・報告書は、後日、ウェルネスバレーのウェブにアップしますので、こちらをご覧ください。 <https://www.city.ouj.lg.jp/wv/index.html>

*** プログラム ***

開会挨拶	東浦町長 神谷 明彦
15:05~15:25	講演 I コロナ感染症流行下で進める企業との共同研究 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 副院長・健康長寿支援ロボットセンター長 近藤 和泉 氏
15:30~15:55	講演 II 「コロナ禍や人材難でも現場がこだわる非効率介護」 ～IT、IOTの導入事例をもとに～ 社会福祉法人成仁会 特別養護老人ホームメドック東浦 理事長 吉田 禎宏 氏
15:55~16:20	講演 III 実証フィールドを活用したAIロボットの活用促進～介護施設編～ シンフォニア・プロパティーマネジメント株式会社 代表取締役 張 耀光 氏
16:20~16:35	報告 ウェルネスバレーの現場ニーズと実証フィールドの活用フロー 大府市健康都市推進局長 吉兼 智人
講演 評	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長 近藤 和泉 氏
閉会挨拶	大府市長 岡村 秀人
16:45~17:00	名利交換会 (自由参加 無料)

<内訳>

国立長寿医療研究センター 6箇所

ルミナス大府、愛厚ホーム大府苑、さわやかなの丘、フラワーサーチ大府、

メドック東浦、相生 各1箇所

- ・提案件数 38件
- ・発信件数 医療関係 2件、福祉関係 18件、合計 20件

③ウェルネスバレーブランド認定制度の運用

ウェルネスバレー構想を広く発信し、ウェルネスバレー関係機関が開発等に関与した商品・サービスの販売促進のため、ブランド認定制度を運用した。イベントでの展示、チラシ作成等により、積極的に制度のPRを行った。

- ・認定審査会開催回数 1回
- ・認定申請案件 更新申請 2件 (全11件)
- ・イベント等でのブース出展によるPR 1回
- ・大府市役所1階ロビーにて、ウェルネスバレーブランド認定商品を常設展示
- ・大府商工会議所会報にウェルネスバレーブランド認定商品を掲載 3回



ブランドロゴマー

④出展

新型コロナウイルス感染症対策によるイベントの開催中止に伴い、メディカルメッセでは医工連携技術シーズ集への掲載や、経済産業省主催の3rdWASSとJHeC2021の連携イベントに登録し、それぞれの公式webサイトから情報発信した。岐阜県の医療・福祉機器分野参入・拡大チャレンジセミナーや静岡がん会議の講演依頼を受け、これらの講演でウェルネスバレーの取組を紹介した。(再掲)

<p>メディカルメッセ 「医工連携技術シーズ集」</p>	<p>3rdWASS 連携イベント (再掲)</p>	<p>岐阜県 医療・福祉機器分野参入・拡大 チャレンジセミナー講演</p>

(4) 土地利用の促進

①健康産業ゾーンの土地利用・都市計画道路の整備の具現化に向けて

大府市、東浦町との共同により平成30年度に実施した「ウェルネスバレー地区内の土地利用の意向調査」の結果を参考とし、健康産業ゾーンにて優先的に企業誘致を進めていく区域の検討や都市計画道路養父森岡線の予備設計を行った。

これをもとに愛知県企業庁、民間開発企業等と工業用地開発の検討を行った。

- ・まちづくり委員会開催（米田地区で持回り会議1回）

②健康交流ゾーンの利活用

優良農地の保全とともに、観光農園の立地に関する情報交換を行い、6次産業化の推進、
ツーリズム事業や農福連携等についての実現可能性について検討した。

- ・まちづくり委員会の開催（半月地区で会議2回（持回り会議1回））

(5) 交流・にぎわいの創出

- ①「第15回ウェルネスバレーめぐり」は新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- ②「第2回ウェルネスバレーイベントめぐり」は新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- ③イベントへのブース出展・展示
 - ・健康の日イベント、あいち県民健康祭、大府市福祉・健康フェアなどは、新型コロナウイルス感染症対策のため中止

令和2年度収支決算書

歳入の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越金	0	0	0	
大府市WV協議会交付金	590,000	590,000	0	
東浦町WV協議会交付金	295,000	295,000	0	
補助金等	0	0	0	
寄付金・協賛金	0	0	0	
事業収入	0	50,000	50,000	
その他収入	4	80,006	80,002	受取利息、メディカルメッセ出展返金分(80,000円)
歳入計	885,004	①1,015,006	130,002	


歳出の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
事業費				
(1)協議会の運営	40,000	2,530	△ 37,470	食糧費(10/8協議会用おおぶの源水23本)2,530円
(2)コーディネイト事業	0	10,330	10,330	コーディネーター費用
(3)新たな産業の創出支援	300,000	346,622	46,622	WVブランド資料送付代 740円 WV取っ手付きクリアファイル制作費 158,400円 富士山麓産学官金連携フォーラム出展費用(有料道路通行料、駐車場代) 10,910円 印刷製本費(MICE/パンフ)137,500円 印刷製本費(MICE/ポスター出展用)38,500円 WVブランド賞状用紙代572円
(4)交流・にぎわいづくり事業	400,000	110,550	△ 289,450	使用料(愛ちた!ナビアプリ掲載料)110,550円
(5)土地利用	0	0	0	
(6)その他	145,004	0	△ 145,004	
歳出計	885,004	② 470,032	△ 414,972	

収支差額(歳入計①-歳出計②)	544,974
WV協議会分(事業収入+その他収入)	130,006
市、町一般会計に戻入	414,968

監査報告書

令和2年度収支決算書について審査した結果、
諸帳簿並びに関係書類の一切が適切に処理されていたことを認めます。

令和 3年 4月 19日
監事 大府商工会議所事務局長 陶瀬 計行 

【参考】大府市・東浦町におけるWV推進協議会交付金以外のウェルネスバレー推進事業関連

項目	予算額	決算見込額	増減	摘要
大府市WV関係事業費				
WV協議会交付金(再掲)	590,000	265,502	△ 324,498	
WV構想推進関連業務委託費	2,736,800	2,649,240	△ 87,560	地方創生推進交付金を充当(1/2) WV地区内でのシンポジウムの実施、アイデアボックスの仕組みづくり
土地利用計画検討業務委託費	0	0	0	
WVまちづくり委員会交付金	80,000	80,000	0	
有料道路使用料	19,000	19,000	0	
職員旅費	47,780	47,780	0	
(合計)	3,473,580	3,061,522	△ 412,058	
東浦町WV関係事業費				
WV協議会交付金(再掲)	295,000	221,245	△ 73,755	
WV構想推進関連業務委託費	1,064,000	1,030,260	△ 33,740	地方創生推進交付金を充当(1/2)
職員旅費	7,000	0	△ 7,000	
(合計)	1,366,000	1,251,505	△ 114,495	
大府・東浦 合計	4,839,580	4,313,027	△ 526,553	